

光市記者発表資料

令和5年12月21日

件名	2023年光市10大ニュースの選定について
内容	<p>標記の件につきまして、市政運営の観点から、重要性や市民生活への密着性などを踏まえて選定しました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>2023年光市10大ニュース</p> <ul style="list-style-type: none">● ゆーぱーく光来場者100万人突破● SDGsチャレンジ光ひまわりプロジェクトを開始● イベントやPR活動を主体的に行う民間団体を支援● 水道の未来に思いをはせる「タイム送水管」を埋設● 伊藤家愛蔵品の寄贈、伊藤公資料館で展示● 市長と市内の中学・高校の生徒が語り合う● スポーツ各競技で光市ゆかりの選手が躍動● 日鉄ステンレスが設備更新に約320億円の大型投資● 中国ジェイアールバス路線などの廃止に係る代替バス路線の方向性が決まる● 施設一体型小中一貫やまと学園の新設に向けた検討進む <p>※各ニュースの詳細については、別紙の説明資料を参照してください。</p>
問合せ	担当課・係 企画調整課まちひとネットワーク係 担当者 中川 雅文 (TEL0833-72-1409)

● ゆーぱーく光来場者 100 万人突破

市民福祉の向上と健康の増進を図る憩いの場として平成 24 年にオープンした「三島温泉健康交流施設（ゆーぱーく光）」の来場者が 100 万人を突破しました。

筋肉痛、疲労回復の効能があり、地元で愛される天然温泉は、予想より早期に 100 万人を達成しました。

● SDGs チャレンジ光ひまわりプロジェクトを開始

地域の農業者が市内 6 か所に景観作物のひまわりの種を植える「SDGs チャレンジ 光ひまわりプロジェクト」の実証実験を開始しました。7 月には一面に満開のひまわりが広がり、11 月にはひまわりを肥料にすき込み栽培したブロッコリーの販売が開始されました。

● イベントや PR 活動を主体的に行う民間団体を支援

虹ヶ浜でのウェディングや子ども向けのイベントの実施、峨嵋山の栈敷の再生や室積観光マップの刷新など、民間団体が主体的に行う、本市ならではの魅力を発信・発見する取り組みを支援しました。

● 水道の未来に思いをはせる「タイム送水管」を埋設

「100 年後も変わらない『安心』を蛇口から」への思いを込めて、多くの人が水道まつりで寄せ書きした送水管が、主要地方道光柳井線の地下に埋設されました。

安全で美味しい水を市民のもとへ運ぶこの送水管は、将来にわたって暮らしを支えています。

● 伊藤家愛蔵品の寄贈、伊藤公資料館で展示

伊藤博文公のご子孫から寄贈を受けた墨書や絵画、工芸品など伊藤家ゆかりの愛蔵品を展示する特別展を開催しました。伊藤家において愛用された逸品が一堂に初公開され、多くの人が伊藤公への愛着を深めました。

● 市長と市内の中学・高校の生徒が語り合う

未来の光市にふさわしい「都市宣言」を考えることを通じて、まちへの愛着を深め、市政への関心を高めるため、市内の中高生が市長とひかりの未来について語り合いました。

また、昨年の対話の中でいただいた提言を具現化し、バスケットボールコートは大和総合運動公園に整備しました。

● スポーツ各競技で光市ゆかりの選手が躍動

光高校野球部が春のセンバツで初勝利を挙げ、セーリング競技で光市勢がインターハイと国体で優勝、田中志歩選手が柔道アジア大会で金メダル獲得、日鉄ステンレス硬式野球部の社会人野球日本選手権大会出場など、スポーツで光市ゆかりの選手が活躍しました。

●日鉄ステンレスが設備更新に約 320 億円の大型投資

日鉄ステンレスが、品質対応能力の向上と高付加価値・難製造製品のメニュー拡大のため、約320億円で光製鋼工場内のスラブ用連続鋳造設備の更新を決定し、山口県立ち会いのもと、市と同社の間で設備更新の協定書に調印しました。

●中国ジェイアールバス路線などの廃止に係る代替バス路線の方向性が決まる

中国ジェイアールバスが周防営業所の廃止を表明し、市内で運行するバス路線が令和6年3月末で廃止されることとなりました。この代替として、防長交通と周南近鉄タクシーにより新たなバス路線が運行される見通しとなりました。

●施設一体型小中一貫やまと学園の新設に向けた検討進む

施設一体型小中一貫やまと学園の新設に向けて、学校や地域、保護者の代表が中心となった準備委員会における様々な議論を参考に、先行する小学校の再編や施設整備基本計画の検討が進みました。